

平成 27 年度

筑波大学・筑波大学附属学校教育局主催

インクルーシブ教育実践研究協議会

日時 平成 28 年 2 月 9 日（火）
会場 筑波大学東京キャンパス文京校舎
〒112-0012 東京都文京区大塚 3 丁目 29-1
TEL 03-3942-6811, 6826, 6572



黒姫高原共同生活の一コマ

関係各位

時下、皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、標記の研究協議会を開催する運びとなりました。

本学は、特別支援学校 5 校を含む 11 の附属学校を有し、これからのグローバルな社会で活躍する人材をインクルーシブな教育環境で育成することを目指しています。そのためこれまでも特別なニーズのある子どもの支援を行うとともに、様々な形で交流及び共同学習を進めてまいりました。今般、文部科学省の事業指定を受けたことを契機として、11 校をスクールクラスター（学校群）と捉え、大学を含む教育資源を最大限に生かして学内のインクルーシブ教育の充実を図るとともに、地域及び全国のインクルーシブ教育システムの推進に寄与する取組を進めてきました。本研究協議会では、取組の一端をご紹介しますとともに、我が国のインクルーシブ教育を教育現場、行政、研究の視点から追求していきたいと考えています。

つきましては、皆様多数のご参加をお願いしますとともに、関係者への周知方につきご協力くださるようお願い申し上げます。

筑波大学 学長 永田 恭介
筑波大学附属学校教育局 教育長 石隈 利紀

日 程

- 10:00～10:15 開会行事（趣旨説明、学長挨拶、来賓挨拶）
学長挨拶 筑波大学学長 永田 恭介
来賓挨拶
文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 企画官 齋藤憲一郎 氏
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 理事長 宍戸 和成 氏
- 10:15～12:00 全体会
10:15～11:00 基調講演
11:00～12:00 学術講演
- 12:00～13:00 昼食・休憩
- 13:00～14:00 報告：筑波大学附属学校群の取組
- 14:15～16:15 シンポジウム

基調講演

テーマ 「我が国のインクルーシブ教育システム構築の現状と課題」（仮題）

講 師：文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 企画官 齋藤憲一郎 氏

【講師紹介】齋藤先生は、平成9年度に文部省入省後、初等中等教育、高等教育などに携わって来られました。平成20年度から2年4ヶ月は特別支援教育課補佐（兼）発達障害支援専門官として障害者権利条約の批准に向けた対応に御尽力されました。現在は、インクルーシブ教育システム構築に向けた特別支援教育の推進に取り組んでおられます。

学術講演

テーマ 「諸外国におけるインクルーシブ教育と我が国のインクルーシブ教育」（仮題）

講 師：筑波大学教授 岡 典子 氏

【講師紹介】岡先生は、障害児教育史を御専門とされ、諸外国のインクルーシブ教育についても精力的に研究されています。欧米型のインクルーシブ教育の課題を克服した東アジア・スタンダード・モデルの構築を提案されています。

報告：筑波大学附属学校群の取組

テーマ 「筑波大学附属学校群のインクルーシブ教育の取組」

報告者：筑波大学(附属久里浜特別支援学校)教授（校長）

筑波大学附属大塚特別支援学校主幹教諭

筑波大学附属中学校教諭

下山直人 氏

安部博志 氏

多田義男 氏

【内容】筑波大学の11校は、スクールクラスター（筑波大学附属学校群）としてインクルーシブ教育を進めています。5校の特別支援学校と6校の小・中・高等学校は、これまでも多彩な交流及び共同学習を展開してきましたが、今年度は、様々な年齢と障害の児童生徒が参加する共同生活を行うなど「多様性理解」の強化を目指した実践を試みてきました。同時に、通常の学級に在籍する発達障害等の児童生徒への支援も充実を図っています。

一方、5校の特別支援学校を中心に地域支援の取組を進めるとともに、我が国のインクルーシブ教育システム構築に当たって全国的に求められる役割についても検討を行い実践してきました。ここでは、筑波大学附属学校群が目指すインクルーシブ教育や取組を紹介します。

シンポジウム

テーマ 「全ての子どもが多様性の理解を深め、特別なニーズのある子どもの発達と参加を促進するインクルーシブ教育システムを目指して」

コーディネーター：筑波大学附属学校教育局 教育長 石隈 利紀 氏

シンポジスト：

新潟県三条市教育委員会小中一貫教育推進課教育センター 指導主事	池田岳康 氏
長崎県教育庁特別支援教育室指導主事	友永光幸 氏
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所(NISE) 上席総括研究員	笹森洋樹 氏
筑波大学(附属久里浜特別支援学校)教授(校長)	下山直人 氏

【内容】文部科学省が進めるインクルーシブ教育システム構築モデル事業は①モデルスクール、②交流及び共同学習、③スクールクラスターの3つのタイプがあります。シンポジウムでは、それぞれの事業を進める学校・地域関係者から現状を報告していただくとともに、合理的配慮データベースを所管するNISE研究員より研究からの知見を御提供いただきます。

【コーディネーター紹介】石隈先生は、御専門の学校心理学（学校心理学会会長）の立場から学校の相談システムを提案し、コーディネーター養成に早くから携わって来られました。現在は、筑波大学副学長・附属学校教育局教育長として、筑波大学附属学校群のグローバル教育とインクルーシブ教育を推進しています。

定員・参加対象

先着 200名

- ・全国の学校において特別支援教育推進に関わる者
- ・全国の教育行政関係者、大学及び研究機関等の特別支援教育研究者等

参加申し込み・問い合わせ先

参加費は無料です。

申し込み方法： 「参加申込書」を下記 URL からダウンロードの上、メール添付にてお申込みください。メール送信時の件名は【インクル研究協議会参加申込】としてください。メールをご使用いただける環境にない場合は、下記問い合わせ先へご相談ください。

参加申込書掲載 URL： <http://www.gakko.otsuka.tsukuba.ac.jp/?p=6901>

送信先アドレス： fk.kyoren@un.tsukuba.ac.jp

申し込み期限： 平成28年2月3日（水） **申込み期限を延長しました。**

参加者の決定： 先着順に決定し、メールにて「参加者決定通知」をお送りします。

問い合わせ先： 筑波大学 東京キャンパス事務部 企画推進課（大学連携・外部資金担当）
TEL 03-3942-6811, 6826, 6572

関連研究会等

筑波大学附属学校は2月に以下の研究会を開催します。インクルーシブ教育システムに関連する研究会もございますのでお知らせします。詳しくは各校のホームページをご覧ください。

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| 2月4日（木）5日（金） | 附属桐が丘特別支援学校「肢体不自由教育実践研究協議会」 |
| 2月6日（土） | 附属高等学校「SGH(スーパーグローバルハイスクール)発表会」 |
| 2月9日（火） | 附属学校教育局「インクルーシブ教育実践研究協議会」 |
| 2月11日（木）12日（金） | 附属久里浜特別支援学校「自閉症教育実践研究協議会」 |
| 2月11日（木）12日（金） | 附属小学校「初等教育研修会」 |
| 2月12日（金） | 附属大塚特別支援学校「知的障害児教育研究協議会」 |
| 2月19日（金） | 附属聴覚特別支援学校「早期教育公開研修会」 |
| 2月19日（金）20日（土） | 附属坂戸高等学校「SGH 研究大会・総合学科研究大会」 |
| 2月20日（土） | 附属視覚特別支援学校「視覚障害教育研究協議会」 |

会場へのご案内

交通のご案内

東京メトロ丸の内線
茗荷谷駅「出口1」 徒歩3分

